

ITU-R TG8/1東京会合報告

FPLMTS(西暦2000年頃のサービス開始を目指した次世代移動通信方式: Future Public Land Mobile Telecommunication Systems)の標準化を進めているITU-RのTG8/1会合が東京で開催されましたので、その概要を報告します。

はた まさはる
秦 正治

ひろいけ あきら
広池 彰

会議概要

TG8/1(Task Group 8/1)は、国際電気通信連合の無線通信部門(ITU-R)傘下においてFPLMTSの標準化を専門に検討する会議です。今回の東京会合は、その第9回会合で1995年9月5日~14日に郵政省飯倉分館で開催されました。18ヵ国と3機関から約100名(日本25名)の参加があり、86件の入力文書について審議が行われました。

主要課題

今会合の主要課題は、

- ・提案された無線伝送技術からFPLMTS用の技術を選択するとき、提案技術候補の評価を行うためのREVAL(Radio EVALuation procedure)と呼ばれる評価手順を規定する勧告の完成、
- ・当初計画(1995年2月、無線伝送技術の選択手順完成、1997年末、無線インタフェースの詳細仕様完成等)に比べ、すでに実質1年近く遅れているワークプランの見直し、

のほか、セキュリティメカニズムの評価および用語に関する勧告の完成でした。

主要結果

無線伝送技術の評価手順(REVAL)については、次回TG8/1会合での承認を目指してREVAL案を作成し、このREVAL

案が評価手順として正しく機能するか否かを検証(Validation)して修正するため、次会合までの会期間作業日程などを次のように決めました。

・作業実行管理グループ

Chairman: G.Jenkinson(豪)

Facilitator: Region 1; F.de Ryck(仏)。

Region 2; R. Engelman(米)。

Region 3; 佐々木秋穂(日)。

Members: TG8/1メンバーで検証と修正作業に寄与できる者。

・Validation作業日程

96年1月1日…サンプルシステムのテンプレート提案締切。

96年1月26日…Validation結果とREVALに対するコメント締切。

96年2月28日…Validationグループ報告書作成、会期間会合を開催予定。

96年3月30日…REVALに対する修正提案締切。

96年4月26日…REVALのTG8/1承認。

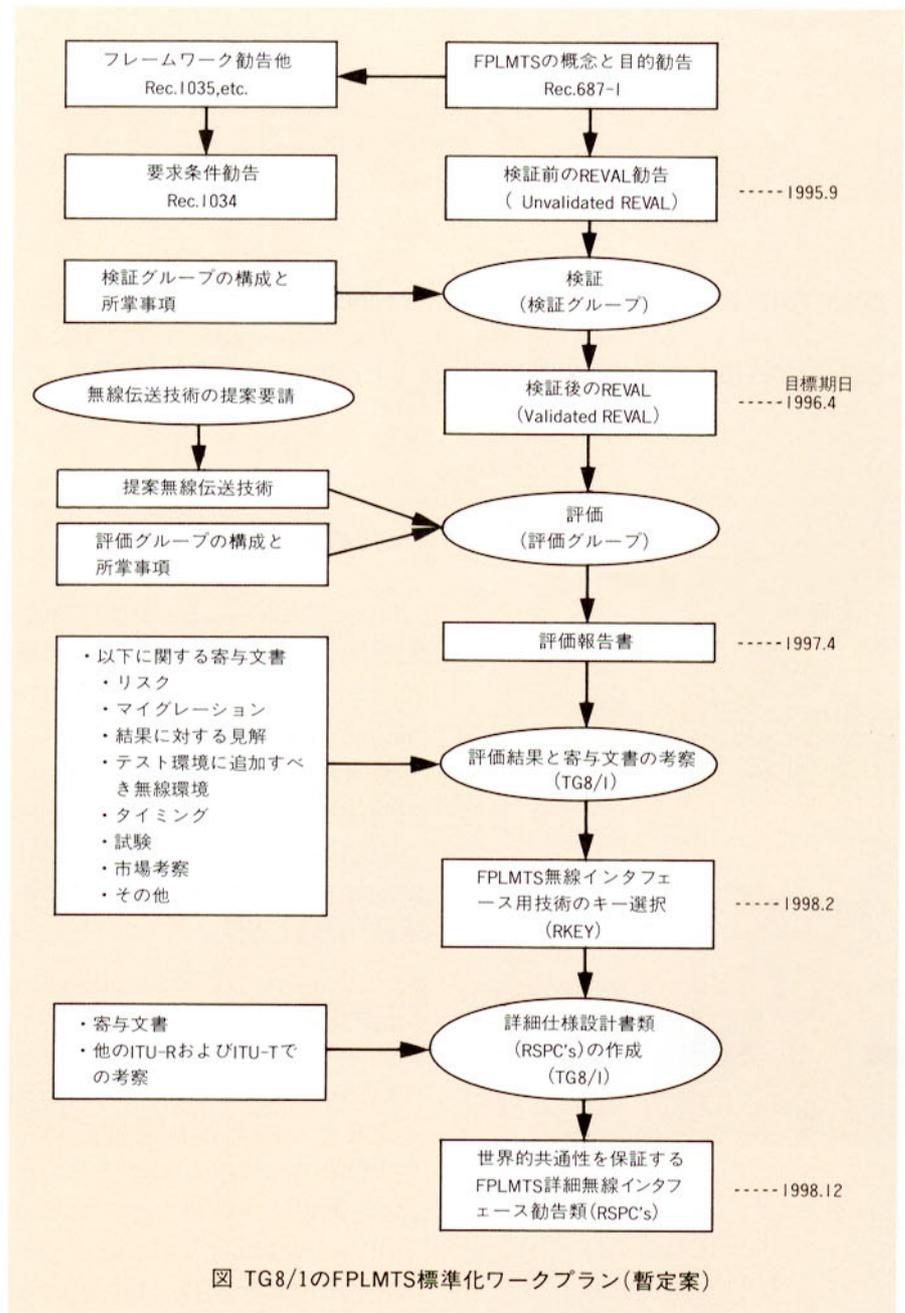
TG8/1のワークプランについては、従来計画より1年遅延した見直し案(TG8/1の作業完了は1998年末)を作成し、次会合でさらに審議することになりました。これは次のように、ワークプランに対する各国のスタンスが大きく異なり、合意に至らなかったためです。

仏独: GSMが進展しており急ぐ必要はなく、FPLMTSのサービス開始は2002年頃、無線方式の提案は97年以降にしかできない。

米国: FPLMTSのサービス開始は、マーケットと製造業者などの意向次第だがいつでもよい。PCS提案を前提に移行(Migration)の検討を重視。

日本: 加入者数の急増している状況から、FPLMTSのサービスは2000年には開始する必要がある。無線方式案を検討中。

暫定的に作られた作業計画見直し案の



概要は次のとおりです。

96年4月末…REVALの承認、無線伝送技術候補の提案受付開始。

96年10月末…無線伝送技術候補の提案締切。

97年4月末…無線伝送技術評価結果の承認、無線方式の選択検討開始。

98年2月末…無線方式のキー選択の承認、詳細仕様検討開始。

98年12月末…無線インタフェース詳細仕様の承認。

図にREVAL作成から無線インタフェ

ース詳細仕様の完成に至るまでの作業フローを示します。同図から、ワークプランどおりにFPLMTS標準化を進めるためには、次会合でREVALが承認されるか否かにかかっているといえます。

セキュリティメカニズムの評価および用語に関する勧告は、大きな議論もなく承認されました。

今回の第10回TG8/1会合は、1996年4月15日～26日、ドイツのマインツで開催される予定です。